

2021年4月14日
損害保険ジャパン株式会社

中野市との『地方創生に係る包括連携協定』の締結について ～中野市、損保ジャパン、SOMPOひまわり生命の3者間協定～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、中野市（市長：湯本 隆英）、SOMPOひまわり生命保険株式会社（代表取締役社長：大場 康弘、以下「SOMPOひまわり生命」）と『地方創生に関わる包括連携協定』を4月14日に締結しましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパンは、「市民、行政、NPOなどとの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献をすること」をCSRの重点課題のひとつとしています。

損保ジャパンは、事業活動を通して培ってきたノウハウを活かして、全国で地方創生に資する取組みを行っており、中野市に包括連携を提案し、このたび協定に至ったものです。

2. 協定の目的

中野市と損保ジャパンおよびSOMPOひまわり生命は、互いに密接に連携・協力し、3者の資源を有効に活用した協働を推進することにより、中野市の地方創生の実現、地域課題の解決を目指します。

3. 協定の主な内容

損保ジャパンの強みや特徴を活かせる以下の項目において業務提携を行います。

- (1) 健康増進に関すること
- (2) 高齢者支援に関すること
- (3) 戦略的な産業振興に関すること
- (4) 観光誘客の促進に関すること
- (5) 活力ある農業の振興に関すること
- (6) 移住・定住の促進に関すること
- (7) 地域の人材育成・確保に関すること
- (8) 結婚・出産・子育ての支援に関すること
- (9) 安全・安心なまちづくりに関すること
- (10) SDGsに向けた取組に関すること
- (11) その他両者が協議し合意した事項

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も地方自治体と連携しながら、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上